

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	町内、地域に馴染むようにスタッフ皆で考えたが、行事には参加しているが、地域の方が訪れてくれることは少ない	グループホーム アダージョを知ってもらう	今までのように、地域での行事には参加している、ホームでの行事も地域の方へ呼びかけていく。町内の「おしゃべり会」等へ利用者さんとスタッフが参加する事で「アダージョ」を知ってもらうよう努める	12ヶ月
2	33	年数を重ねると共に、リスクが高くなってきているが、いざという時に、対応しきれるか？	勉強会の継続 スタッフ一人ひとりが利用者様の体調を把握し、変化のある時は対応できるようにする	個々の利用者様の日々の体調について、スタッフ全員が把握し変化に気付けるようにする（バイタル測定など、スタッフ間で報告・連絡を必ずする） 勉強会も継続していく	6ヶ月
3	18	家事など一緒に行っているが、ご本人と共に過ごし支えあう関係にはなれているのか？	生活の場という事を考える	利用者様と一緒にユニット会議（話し合いの場）を行う	6ヶ月
4	49	買物での外出が多くなっており、同じ利用者さんばかり、出かけることが多くなっている	皆な同じように、出かける機会をもつ	ホーム玄関先、グリーンベルト等、近い場所でも外気にふれる機会をつくる	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。